



# 全道各地区から

全道各地で開催された「植樹祭」「森とのふれあい企画」のようすをご紹介します。



## 札幌西地区(植樹地:喜茂別町)【開催日】6/13(土)・ナナカマド150本、エゾヤマザクラ10本

森林組合さんの協力のもと、桜を記念植樹しました。昼食は地元産野菜たっぷりのカレー、喜茂別町さんから名物の「あげいも」をいただき、おなか一杯になりました。午後に訪問した札幌市南区の八剣山ワイナリーでは社長にぶどう棚の話をしていただき、ワインの試飲もして、心地よい時間を過ごすことができました。今回、あすもりサポーターに登録してくれた方がたくさんいて、良かったです。



## 小樽・石狩A地区(植樹地:真狩村ごとう農園)【開催日】5/16(土)・カラマツほか80本

今年はF1カラマツの苗木を植えました。農園ではドングリの木にシイタケの菌を植菌したり、山菜取りを楽しみました。また、後藤さんから畑と森の関係、森の役割についてのお話をお聞きしました。お昼は、ごとう農園産の野菜がたっぷり入った豚汁、山菜のウドとアスパラの揚げたての天ぷらをいただきました。4年目を迎え、過去に植えた苗の生育を見ながら植樹できるので、とてもやりがいを感じます。



## 南空知・石狩B地区(植樹地:栗山町)【開催日】5/16(土)・トドマツ420本

昨年に引き続き雨の中での開催となりましたが、バス2台で植樹地向かいました。植樹地は急斜面ですが、かえって植樹する事の大切さがわかって良かったようです。「植えた木が40年かけて育つと聞き感動しました」「数年前に参加した時の苗が育っているのを見て、感激しました」「午後のいも植えが雨で中止になり残念でしたが、小林酒造訪問は最高でした。また、行きたいです」との感想を寄せられました。



## 旭川地区(植樹地:鷹栖町)【開催日】6/20(土)・トドマツ、アカエゾマツ、ミズナラ400本

今年から新しい植樹地です。鷹栖町や森林組合さんが、事前に穴を掘るなど段取りしてくれていたため、植樹がしやすかったです。植樹の最中は暑かったですが、パレットヒルズに移動してからは日差しは強いものの、木陰がとても涼しく快適でした。参加者からは「森では蛇のぬけがら、池にはコイ、小川には川エビなどがいました。ふだん見ることのできない体験ができて良かったです」との感想が寄せられました。



## 帯広地区(植樹地:新得町屈足)【開催日】5/24(日)・カラマツ300本

今年から新得町さんと協定を結び、5年間の植樹活動が始まります。最初に看板の除幕式と記念植樹を行いました。地ならしのおかげで土が掘りやすく、親子で楽しく植樹できました。午後の「原木しいたけ狩り」は4月からの乾燥と水不足と強風の影響で不作でした。環境と植物は密接な関係にあることを実体験しました。気候の変化を肌で感じ、二酸化炭素削減のために植樹活動は大切なことだと改めて知らされました。



## 釧路地区(植樹地:白糠町上庶路)【開催日】5/31(日)・トドマツ400本

バス2台で植樹地に向かいました。現地は晴れて気温も高く、汗だくになっての植樹となりました。今年初めての方やお子さんの参加が多かったです。リピーターの方たちは過去に植樹した木の成長を振興局の方に尋ねたり、自分の目で確かめたりと、育樹への関心が高まっていると感じました。「白糠町は子どもと遊びに来るのもいいなと思いました。新たな発見でした」とあたたかい感想をいただきました。



## 北見地区(植樹地:美幌町)【開催日】6/20(土)・カラマツ400本

毎年、笹の根張りに苦労させられて来ましたが、町の職員さんが地ならしをして、土をやわらかくしておいてくれました。今年は昨年必死な表情から一転、楽しく笑顔がこぼれる、心地良い植樹祭となりました。閉会式では、参加組合員から、町の職員さんへ事前準備に対する感謝の拍手が起こりました。午後からは、美幌町の木材活用の取組みや木質バイオマス施設を見学しました。「環境を考える良い機会になった」と好評でした。



## 苫小牧地区(植樹地:むかわ町豊城)【開催日】5/16(土)・カラマツ600本

今年補植作業をしました。カラマツの特徴や植樹の方法を聞いた後、1~5年目の枯れてしまったところに苗木を植えました。親子の参加が多く、2歳のお子さんもお手伝いをしていました。参加者からは「補植はやりがいがありました」「孫と参加して、とても良い思い出となりました」との感想をいただきました。初めて参加する親子連れが多く、これからの広がりが楽しみです。



## 室蘭地区(植樹地:洞爺湖町三豊)【開催日】5/23(土)・トドマツ404本、クリ1本

昨年まで苫小牧地区と合同で植樹祭を行っていましたが、今年から、室蘭地区単独で開催しました。第1回目の記念として、栗の木を植えました。参加者から「記念植樹した栗の木を来年も見に来ます!」と喜んでいただき、みなさんで植えることができ楽しかったです。ほかの参加者からも「お天気も良くて最高」「ホテルの食事も景色も感激しました。次も参加したいです」とうれしい感想がたくさん寄せられました。



## 函館地区(森とのふれあい企画)【開催日】6/20(土)

植樹祭は行わず、森とのふれあい企画として、森町にある(株)ノルキの製材所を訪問しました。山から伐り出した丸木が住宅資材になる製造工程、端材等を活用したバイオマスシステムなどを見学しました。原木が次々と加工される様子は迫力がありました。その後、バードコールなどの木工作品を制作し、木の感触や香りなどを堪能しました。普段できない体験がたくさんでき、森や木と楽しくふれあう時間を過ごしました。



# あすもり基金助成団体の森関連イベント情報 8月下旬～10月

※申込締切や参加費、持ち物などの詳細は主催団体へお問い合わせください。

開催日	時間	イベント名	場 所	内 容	申込	主催団体	問合せ・申込先
8/29(土)	10:00 ～12:00	里山づくりの日「野鳥の森の日」	登別市・ふおれすと鉱山周辺	神社散策 森手入れ	不要	NPO法人モモンガくらぶ	0143-85-2569 momonga@npo-momonga.org
9/6(日)	12:50集合 ～13:40	飛生の森びらきツアー	白老町・飛生の森 (旧飛生小学校林)	森のお披露目	不要	飛生アートコミュニティ	contact@tobiu.com
9/6(日)	14:00 ～15:30	飛生の森づくりプロジェクト報告会 (定員60席)	白老町・飛生アートコミュニ ティ体育館(旧飛生小学校)	森づくり 報告会	不要	飛生アートコミュニティ	contact@tobiu.com
9/6(日) ～11(金)	10:00 ～16:00	飛生の森の展覧会	白老町・飛生の森 (旧飛生小学校林)	森が舞台 の展覧会	不要	飛生アートコミュニティ	contact@tobiu.com
9/8(火)・10(木)・12(土) 9:00～15:00		森林環境教育・学校林の手入れ	札幌市・駒岡小学校林	地植え等 植樹準備	要	NPO法人 森林遊びサポートセンター	011-592-1030
9/12(土)	9:00 ～15:00	じゅんの森・木炭づくり体験(9/10締切)	池田町・じゅんの森	炭出し 薪割体験	要	NPO法人トカプチの森	0155-27-3161(川田工業内)
9/13(日)	9:00 ～15:00	じゅんの森・花炭づくり体験(9/10締切)	池田町・じゅんの森	花炭製作 アレンジ	要	NPO法人トカプチの森	0155-27-3161(川田工業内)
9/27(日)	9:00 ～12:30	第9回 KOZAN GREEN RACE (1km～20km・子ども参加可、9/16締切)	登別市・鉱山の森周辺	森林内 マラソン	要	コーザングリーンレース実行 委員会(モモンガくらぶ内)	0143-85-2569 kgr@npo-momonga.org
9/27(日)・10/7(水) 9:00～15:00		森林環境教育・地ごしらえ体験	札幌市・藤の沢小学校林	地植え等 植樹準備	要	NPO法人 森林遊びサポートセンター	011-592-1030
10/3(土)	9:30 ～12:30	どんぐり記念日(終了後昼食会あり)	釧路町・達古武	種の植込 みと植樹	不要	NPO法人トラストサルン釧路	0154-44-5022
10/10(土)	8:30 ～15:00	林業体験(アカエゾマツ人工林)	恵庭市・樽前山麓国有林	人工林の 除伐作業	要	NPO法人 森林遊びサポートセンター	011-592-1030

●イベントのくわしい内容は主催団体のホームページでご確認ください。

- ・NPO法人トカプチの森 <http://www.tokapchi-forest.jp/> ・NPO法人トラストサルン釧路 <http://homepage3.nifty.com/trustsarun/>
  - ・飛生アートコミュニティ <http://www.tobiu.com/> ※9月上旬の森関連行事は、飛生芸術祭2015 <http://fes.tobiu.com/2015/>
  - ・NPO法人モモンガくらぶ <http://npo-momonga.org/> ・NPO法人森林遊びサポートセンター <http://www.moriasobi.jp/>
- あすもり基金の facebook で、助成団体のイベントを随時ご紹介しています。 <https://www.facebook.com/coop.asumori>

## あすもり事務局から



### 基金コースターの名前募集(締切9/10)

今年はコープの森の森づくりに参加したサポーターさんに、「あすもり焼印入りコースター」をプレゼントしています。旭川産間伐材を使った、このワイルドなコースターの名前を募集します。ぴったりの名前を考えてくださった方には、素敵なプレゼントを用意しています。

みなさまのご応募お待ちしております！

●応募方法：「コースター名前応募」と明記し、

お名前、郵便番号、住所、TEL、コースター名をご記入のうえ、メール、FAX、ハガキでご応募下さい〔応募締切9月10日〕。

メール：csapmori@todock.jp、FAX・住所は本ページ下段をご覧ください。次号のサポーター通信で結果発表いたします。

### 2016年度森づくり助成団体応募受付中！

基金では北海道の森づくり団体を応援する助成制度を設けています。団体に10万円を助成する小額助成、事業案件に助成する100万円を上限とした高額助成の応募を受け付けています。応募締切は9月30日。詳細は基金のホームページ(「モリイク」で検索)をご覧ください。

あすもり基金 Facebook の QR コードです。携帯電話などのバーコードリーダーで撮影すると、Facebook ページを開くことができます。どうぞ活用ください。



<https://www.facebook.com/coop.asumori>

## 森の本

毎号1冊、森づくりに関するおすすめの本を紹介します。

### 石油に頼らない 森から始める日本再生

著：養老孟司・日本に健全な森をつくり直す委員会／発行元：北海道新聞社



養老孟司がいう。

石油産出量がピークアウトするのは10年以内。石油が使えるうちに森という資源が使える環境を整備しておく。それが、日本に健全な森をつくり直す委員会の目的だ。

ヨーロッパには200年の林業経営の歴史がある。「木を植えて育てて販売するという

サイクルを林業という」ならば、日本はこれから始まるという状態。やりようによっては、日本の森林はドイツ並み(年間6000万立方メートル)の木材を安定的に生産し(現在2000万立方メートル)、雇用も確保できる。持続可能な社会の構築という視点から見ても「木材の利用」と「健全な森林生態系の維持」は必須だ。

C・W・ニコルは断言する。森には「汗」が必要です。「知恵」も必要です。もうひとつ一番大きなもの、森には「愛」が必要です。森に愛をあげたら、もっとたくさんの愛を返してくれます。本書では故・立松和平、湯浅勲・日吉町森林組合参事など識者の意見も入れて、林野庁の「森林・林業基本法」の問題点を具体的に指摘し、改正意見を提言している。この年になって、また新しいことを教えてもらった。

(基金運営委員・井下泰浩／北海道ぎょれん環境部)

### あすもり基金 今後のスケジュール

※お申込み開始に合わせてチラシ、ホームページなどで詳細をご案内させていただきます。

- 富良野自然塾で植樹と自然を体験しよう：9月19日(土) ●秋の育樹祭：10月3日(土)
- 森づくりWS 第3回：9月26日(土)、第4回：11月14日(土) ●北海道の森づくり交流会：2016年1月30日(土)

COOP SAPPORO

生活協同組合  
コープさっぽろ



いっしょに  
100まで。

コープ未来の森づくり基金事務局

〒063-8501 札幌市西区発寒11条5丁目10番1号  
TEL 011-671-5651 FAX 011-671-5743